

独立行政法人・国際協力機構(JICA)大阪センターⅡ大阪府
 淡木市Ⅱが実施している文化財修復整備技術コースに参加している
 考古学を中心とする外国の研究者らの研修団一行が20日午後、宇治
 市役所を表敬訪問。原田和久副市長のもとを受け、歓談した。



ゆめりあうじで研修する一行

世界遺産

平等院見学、茶席初体験

宇治市役所

表敬訪問、副市長と歓談

JICAでは開発途
 上国の技術者や行政官
 を研修員として日本に
 招き、さまざまな分野
 の研修を一定期間行っ
 国際協力活動を行って
 いる。
 市役所を訪問したの
 は埋蔵文化財の測量技
 術を習得するために来

日しているタイ・エチ
 オピア・フィジー・ア
 ルメニアなど7カ国の
 学者、土木技師、博物
 館館長ら男女9人(25
 歳~44歳)。今年2月
 から6月までの予定で
 滞在。
 宇治市では今月19日
 からJR宇治駅前の
 の図面づくりのために



平等院で学芸員の説明を聴く研修団一行

JICA文化財修復整備技術研修団

土木・建築・分譲
株曾束迪工務店
 075-6631-5666

講義や実習を受け、測
 量技術を研修。こうし
 た関係から表敬訪問し
 た。
 午前中に研修を済ま
 せ、午後からは小林社
 長らとともに世界遺産
 の平等院を見学、市営
 茶室「対鳳庵」の茶席
 も初体験(抹茶を味わ
 う)した一行。
 原田副市長は「お茶
 と観光と源氏物語の街
 を3本柱で外国の皆さ
 んに宇治を案内してい
 ます。また機会をとら
 えて宇治に」と歓迎の
 挨拶。研修生の面々は
 「平等院は素晴らしい
 自然に囲まれている」
 などと感想を話しながら
 歓談のひと時を過し
 た。市からは十二単姿
 の貴族女性をあしらっ
 たハンカチを記念品と
 してプレゼントした。